

四谷の

千枚田だより



第 141 号

会長 小山 舜二
副会長 高橋 孝行
理事 高橋 伸治、今泉雅男、
田英史、松下 誠(会計)

鞍掛山麓千枚田保存会総会

五月九日、連谷会館に於いて総会(会員二十五名)が開かれた。

この一年間、千枚田の保存活動に対し、大変ご苦勞様でした。特に、鳳来北西部地域活動交付事業の採択を受け、連谷地区地域環境整備(お助け隊主導)、ベンチ設置などが実施できた。また、四月十二日に行われた「パワートレイル」に於いては四谷区長に変わり、飛び込み行事にも関わらずお助け隊、棚田っ娘の大きな協力を得て、参加者約八百人(選手約七百人)に「しし汁」、「おにぎり」、「湧き水のお茶」などの接待は多方面から多くのお誉めの言葉を頂いた。これも、日頃、千枚田を中核としての地域活動の賜物と感謝します、と会長挨拶。

議事 松下事務局から事業報告、決算報告があり、すべて承認された。役員については、会長から高齢(七十四才)、力不足(会員を束ねる)を理由に辞退したが、この一年を約束に留任に至ってしまった。

連谷お助け隊総会

四月二十五日、連谷会館に於いて総会が開かれた。

冒頭、林 義明リーダーからメンバー(二十六名)に、一年間の地域活動の労いの挨拶があり、続いて原田 英史から事業報告、決算報告があった。役員については立候補者もなく同メンバーで継続。

事業計画として①「灯そう千枚田」六月六日 ②千枚田保存会事業への協力・各種交流活動及び千枚田周辺環境整備活動ほか ③連谷小学校閉校に伴う各種事業への協力などが質疑され、すべてシャンシャン。懇親会へと進行した。

お知らせ

お田植え感謝の夕べ 灯そう千枚田

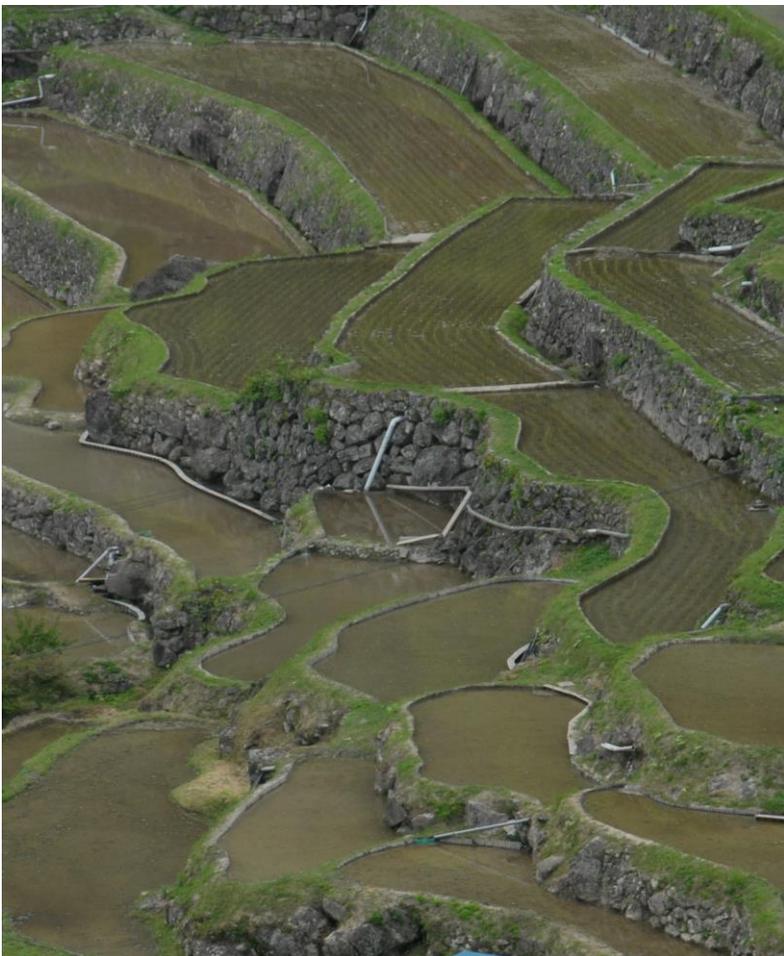
2015

日時 平成 27 年 6 月 6 日
土曜日 午後 7 時～

連谷お助け隊
協力 保存会・棚田っ娘
愛知県ふるさと指導員

連絡

5月31日(日)、午前8時～
ふれあい広場・千枚田入口周辺
の環境整備(草刈り作業)を実施
します。



第五〇回 長篠合戦のぼりまつり

五月四日、長篠戦役参戦将士陣没者四四〇年法会が医王寺で開催。

千枚田を望む身平橋組の年中行事「大数珠まわし」（百万編念仏）を奉賛した。

本堂仏間で導師法要とともに南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏と数珠を回す様は来賓、観客を魅了した。

二回目は一般の方々も数珠回しに参加、念仏を唱えた。あの、冷静、沈着の丸山市議さんも伝承文化を絶賛、九十六才の「よし子お婆あ」もいいところ連れてきてむらつて有難いことだと嬉しがっていた。



こども農学校の田植え

五月九日、JA愛知東主催の農業体験を通じて、こども達に「食」と

「農」の大切さをテーマに、こども農学校（六十五名、スタッフ二十名）の田植えが高橋庄一（顧問）の指導で行われた。



棚田の楽耕（学校）

五月十日、三家族（十人）が参加、稲の補植作業、水口の冷水を温めるために設置する畔波（仕切り）を固定する竹杭作りを体験した。孟宗竹を斧や鉋で割る作業は親子とも初めての経験とみえ、手にマメを作るほど真剣に取り組んだ。

新城高校農業クラブの田植え

五月九日、県立新城高校農業クラブ（五十一名ほか）の田植えが原田英史（理事・ふるさと指導員）の指導で行われた。



豊橋調理製菓専門学校の田植え

毎年、一年生が食農の一環とした体験学習を実施している。五月十四日、三十三名の生徒が千枚田の自然、文化、厳しい条件での耕作者の苦労などの説明を（舜）から受け、ふれあい広場で昼食、午後は初めての田植えを体験した。

四谷集落協定について

平成十二年度から中山間地域等直接支払制度の認定を受け、三期、十五年間、交付金を頂いてきたが、本年度から（四期目）の集落協定には今後の五年間継続という縛り（脱退者の耕作管理、遡って交付金の返納など）に先を案じ、協定者全員一致で継続しない事に、残念ながらもってしまつた。

〔集落協定の目的 耕作放棄地の解消と発生を防止し、将来にわたって持続的な農業生産活動を可能にすることにより、本集落の持つ多面的機能の確保を図るため、関係者が一致協力して今後の五年間に取り組む事項として定めるものとする〕

身近な予定

- ・五月十八日、東海テレビ「スイッチ空からみた東海」ドローンによる千枚田の空撮放送
- ・五月二十一日、鳳来寺、海老、連谷小学校（三校合同）の田植え
- ・五月二十七日、市立鳳来中部小学校の「千枚田を知ろう」
- ・六月七日、市立鳳来寺山自然科学博物館の「春の生きものを探ろう」
- ・六月十三日、JA愛知東の「きわめびと（舜）」による千枚田散策

行 平成二十七年五月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山 舜 二